

令和の米騒動と北海道米

終わらない夢／中部ブロック

2024年夏、スーパーからお米が消えた！覚えていますか？「令和の米騒動」と言われました。あの時、「近所のお米屋さんに行けばあるだろう」と思いましたが、「あれ？近所にお米屋さんってあったかしら？町内のお店は数年前に閉めちゃったし」と慌ててネットで検索しました。自転車で行ける商店街にやっと1軒。子供の頃に行ったことあるぞ。そこでやっと1袋買えました。やれやれ・・・。そういえば、酒屋さんも近所の店は、みんな廃業してしまっている。ここ数年は、スーパーや量販店で買っていたから、気が付かなかったなあ！皆さんのご近所ではどうですか？統計によると、お米屋さんや酒屋さんは、昭和が終わるとともに急速に個人の小売店が減少し、今やピーク時の半分になっているそうです。確かに、値段や品揃えなどから、小売店では買わなくなっていましたねえ。こんな時だけ頼るなんて、反省です。

さて、米騒動関連ですが「北海道のお米」食べたことがありますか？"ゆめぴりか""ななつぼし"静岡で売っているブランド米はご存じでしょう？実は、今「北海道米」はすごいんです！私の記憶にある北海道米は、大学生のとき（今から40年も前、昭和の時代です）、学食で初めて食べたパサパサしてなんともおいしくない"道産米"でした。それから二度と北海道のお米を口にすることはありませんでした。

がしかし・・・米騒動の最中に、北海道屈指の穀倉地帯（札幌から旭川に向かう、空知・上川地方：岩見沢、美唄、滝川など）に行ってきたのですが、そこで目にしたお米にびっくり。「ふっくりんこ」「おぼろづき」「ほしのゆめ」など、静岡では知られていないブランド米があるんです。北海道は、お米の作付面積・収穫量とも、新潟県に次いで全国第2位だそうですよ。知ってましたか？ちょうど新米の時期だったので、「おぼろづき」買ってきました。コシヒカリと比べても遜色なくおいしかったです。日本は広いぞ～



【岩見沢駅舎】

2005年に
デザインコンペ
西村浩氏設計
2009年開業

千尋の滝（センピロノタキ）

君の名は／中部ブロック

念願の屋久島へ行ってきました。

屋久島では独特の生態系、文化、歴史を感じました。そのひとつが千尋の滝「センピロノタキ」です。この滝はモッコム岳の裾の巨大な花崗岩の岩盤を鯛之川が刻んで、壮大なV字谷の景観をつくりだしたもので、屋久島を代表する滝の一つです。滝の左側にある一枚岩は、まるで千人が手を結んだくらいの大ささという事で「千尋の滝」と名づけられました。昔から人が両手を広げた長さを"一尋"と呼び、身体のモノサシとして使っていたことに由来します。

この「千尋」読み方が「センピロ」と読むところにとってもかわいらしさを感じ惹かれてしまいました。

また、屋久島にはたくさんの野生のお猿さんが住んでいて、幸運にも時々出会うことができました。屋久島のお猿さんは、とても小柄で大人の猿でも子猿のような大きさです。このお猿さんの呼び方も島の人たちは「あんちゃん」と呼ぶのだそうです。「サル」という言葉は縁起が悪くあまり使わないそうです。島の人たちの自然と共存するやさしさを感じました。

今度は10時間のトレッキングに耐えられる体力をつけて、縄文杉に会いに行きたいです。

